

こころん推進NEWS

創刊号
H21年9月

～計画推進ニュース～

とうとう活動計画の推進年度に入りました。策定に関わっていただいた方々を中心に、さっそく実行にむけてそれぞれのプロジェクトチームは動きだしています。1次計画での教訓、「絵に描いたモチ」にしないために、あせらず、でも止まらずに力を出し合って進めていきましょう。

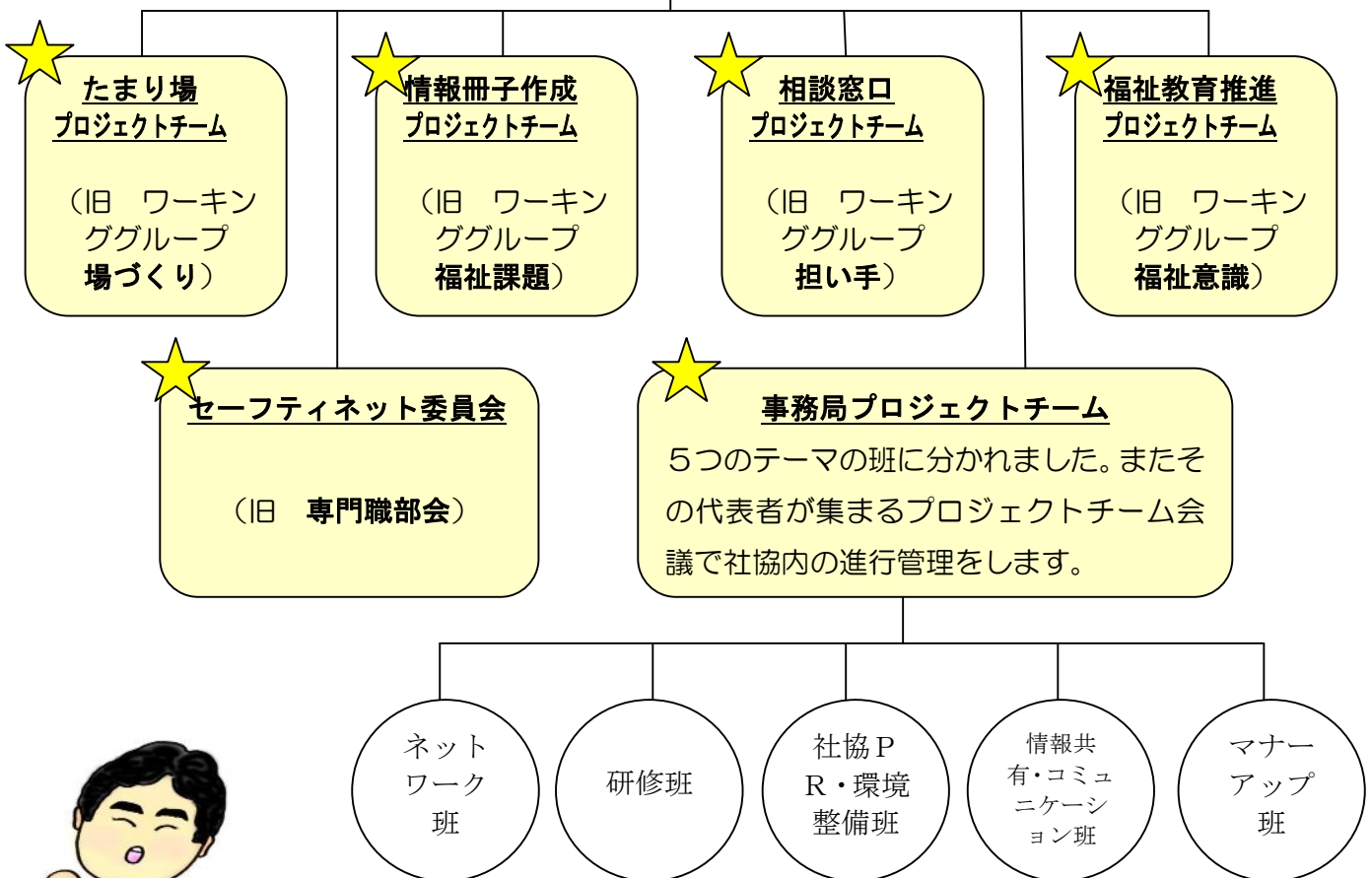
今まで策定経過をお伝えしてきた「こころんニュース」を、今後は「こころん推進ニュース」としてリニューアルし、経過や予定をみなさんにお伝えしていきたいと思ひます。



今年度の推進体制

推進プロジェクトチーム代表者会

4つのプロジェクトチームと、セーフティネット委員会、事務局プロジェクトチームの代表者が集まり情報共有・進捗状況を点検しあひます。



日本福祉大学
原田正樹先生

今年度も引き続き、アドバイザーとして関わっていただきます。
どうぞよろしくお願いいたします。

各プロジェクトに聞きました！！

お題:今年度、何をがんばりますか？

【たまり場プロジェクトチーム】

今年度、2か所のたまり場の立ち上げ支援と、たまり場の把握数を70に増やします。

まずはこのプロジェクトチームの認知度を高めるため、多くの経験と実績を積んでいくことから始めたいと思います。 (日比野)

【情報冊子作成プロジェクトチーム】

情報冊子作りの下準備としての情報収集に力を入れます。まずはどんな情報をのせると役立つのかを整理するために、様々な立場の人が日頃困っていることを聞きとり調査し、項目を整理したうえでそれに役立つ情報を集めていきます。

(堀井)



【相談窓口プロジェクトチーム】

相談窓口を「こころんお助けコーナー」と名付けました。マスコット『こころん』の見守る窓口で、不安、悩みや困りごと等が安心や喜び等に変わる…そんな光景を想像しています。地域全体が普通の暮らしの幸せを享受できる共生社会実現のためにも、気軽に相談できる窓口の設置に向けて、粘り強く、地域の皆さんの理解と積極的な協力を得られるように努めていきます。 (長谷川)

【福祉教育推進プロジェクトチーム】

学校や地域での福祉教育関係者が集まる福祉教育セミナーの企画・実施を大きな目標にします。また継続的に交流することで自然と認め合えるような福祉教育の機会づくりを具体的に検討していきます。

(野川)

【セーフティネット委員会】

専門職が、困った方のニーズを受け止め、その解決のために適切な相談機関等へつないでいくために活用できる「昭和区における保健・医療・福祉の情報冊子」の作成を行います。現在、その目次となるべきニーズの項目を整理しており、

今後は、その相談先の関係機関等を整理していきます。

今年度中の完成を目指しています。

(佐藤)

～5つの班と
事務局プロジェクト
チーム～

＜ネットワーク班＞

部門を超えたニーズのやりとり、
フォーマルとインフォーマルをつなげ、
「誰もが誰かの力になれる」関係を作っていく
ということが具体的に実感できる「こんな・こんな
カード」を作りました。「支援するだけの人」「支
援されるだけの人」という見方を、職員自身がま
ず変えていけるよう働きかけていきたい
と思います。（主事：野川）

お題
こんな「いきま
始めます

＜研修班＞

これまで「プロジェクト
チーム交流会」や「職員全
体研修会」の裏方を務めてきました。
11月には初の独自企画として「お互いの仕事
を知ろう」（仮称）という研修の開催をめざし鋭
意検討中です。昭和区社協の中で地域福祉分野
と介護分野が一層連携する“総合支援型社協”
の実現に向け、“研修”という側面で取り組ん
でいきます。（次長：加藤）

＜社協PR・環境整備班＞

マスコットキャラクター「こ
ころん」を活かしたPRとして、
イベント時の「こころん」を使ったPRや
デイのお客様手作りの「こころん」の活用方法、
車や建物に貼る「こころん」などを検討中。ま
ず身近なところから、在宅サービスセンター利
用者をターゲットに考えています。社協の何を
PRするのか？など、社協を考えるきっかけ
にしたいです。（主事：高浜）

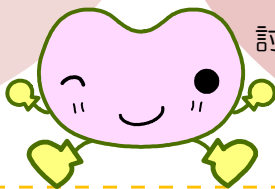
＜マナーアップ班＞

これまで、「電話マナーアンケート」により、
職場における電話マナーの改善事項をさぐって
きましたが、今後は、その主な改善事項をスロ
ーガンとして掲げた後、当在宅サービスセンタ
ーに来所の方への対応マナーについて、敷地
に入られてからというように総合的にとらえて検
討していきます。

また、今年度中に、関係者への訪問時のマナ
ーアップについても検討していく
予定です。（次長：佐藤）

＜情報共有・コミュニケーション班＞

現在は、「職場内の情報の一元化」というテー
マで検討を行っています。それぞれの部署の持
つ情報や問題点、それぞれの部署の行う業務内
容など多くの面で職場内の共有が十分できてい
ない現状があることが分かり、事務所内掲示板
を整理し、情報共有のための掲示板の有効利用
を行うこと、各部署の持つ情報や問題点などが
職場全体のものとなるための仕組みについて検
討し取り組んでいきたいと思います。
（地域包括支援センター：津貫）



＜事務局プロジェクトチーム＞

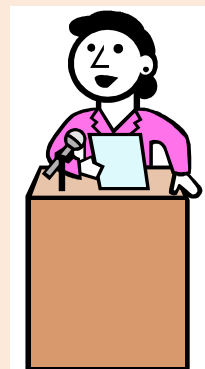
各班で検討してきた提案事項の実施に向けた検討をこの会議で行っています。

これまで「第2次地域福祉活動計画プロジェクトチーム交流会」の開催や、事務所内における情報の管理や掲示の方法など、各班からの提案を検討し実行に移す手伝いをしてきました。それぞれの班で熱心に検討してきたことをいかに実現するかを話し合い、それをみんなで実行していくという考えを大切にしています。
（次長 加藤）

経過報告(H21.4~9)

★計画のPRをしました★

- 5月28日 自立支援協議会総会 シンポジウム
登壇者 セーフティネット委員会の井上氏（区役所）・貝沼氏（吹上授産所）
福祉教育プロジェクトの三好氏（AJU 自立の家）・社協 加藤
- 6月29日 昭和三の福祉まつりシンポジウム
「共に生きる地域づくりをめざして」ー認知症を地域で支えるー
登壇者 たまり場プロジェクトチームの日比野氏
セーフティネット委員会の吉田氏（東部地域包括支援センター）
- 7月28日 滝川学区ペア座談会 活動計画の要点と滝川学区活動計画について
- 9月27日 福祉まつり 寸劇とナレーション（社協職員と冊子プロジェクトの堀井氏）



★話し合いました★

- 第1回推進プロジェクトチーム代表者会（兼プロジェクトチーム交流会） 8/10
4つのプロジェクトチームとセーフティネット委員会、社協の5つの班のメンバーが集まり、今年度のとりくみ目標を報告し合いました。

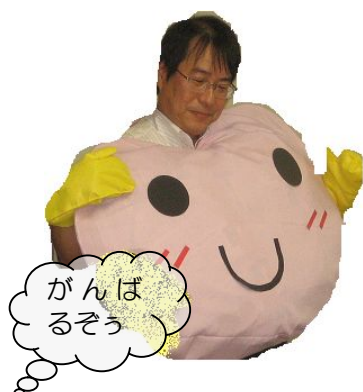


●プロジェクトチーム

- たまり場プロジェクトチーム 4/14・6/1
- 情報冊子作成プロジェクトチーム 4/14・6/23
- 福祉教育推進プロジェクトチーム 4/24・7/15
- 相談窓口プロジェクトチーム 4/16・6/11・7/9
- セーフティネット委員会・作業部会 6/30・7/24・8/25・9/14・9/30

●事務局プロジェクトチーム

- ネットワーク班 4/20・5/18・7/3・7/17・8/18・9/17
- 研修班 5/27・6/19・7/24・8/18・9/25
- 社協 PR・環境整備班 6/5・7/9・8/5・8/31
- 情報共有・コミュニケーション班 5/26・6/16・7/22・8/18
- マナーアップ班 6/12・7/16・8/18・9/17
- マナーアップ班 5/27・6/17・7/17・8/5・8/13・8/18



がんばるぞう

いよいよ「こころん推進 NEWS」創刊です！

今、昭和三の地域福祉は第2次活動計画の策定により新たなスタート地点に立ちました。

今後、計画項目をより具体化し、実践していく過程を皆様にもお伝えすることにより、より多くの共感者づくり・仲間づくりをしたいと考え、「推進 NEWS」を創刊いたしました。

みなさまにご愛読いただければ幸いです。

（事務局長 柏 光次郎）